

第 146 回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

議事概要

日 時：令和 4 年 1 月 27 日(木) 13：30～14：30

場 所：県庁 6 階 第 1・2 特別会議室

・会議の概要

<報告事項>

- ◇ 県内における新型コロナウイルス感染症の感染者数や広がり状況、医療提供体制等について、それぞれ所管する本部員から報告があった。

<議題>

- ◇ 議題（1）について検討した結果、総括情報部提案のとおり、沖縄県対処方針を変更することを決定した。

<その他>

- ◇ 文化観光スポーツ部から、沖縄発航空便の搭乗者（希望者）を対象とする無料検査を内閣官房が実施していることについて報告があった。

1 参加者

玉城 知事、謝花 副知事、照屋 副知事、島袋 政策調整監、金城 知事公室長、池田 総務部長、儀間 企画調整統括監、普天間 環境企画統括監、日下 県警本部長、大城 保健医療部長、名渡山 子ども生活福祉部長、下地 農政企画統括監、金城 土木企画統括監、嘉数 商工労働部長、宮城 文化観光スポーツ部長、大城 会計管理者、佐次田 教育管理統括監、我那覇 病院事業局長、長濱 企業企画統括監、諸見里 医療企画統括監、糸数 保健衛生統括監、高山 政策参与、テレビ会議システム利用：木村 宮古保健所長、比嘉 八重山保健所長

2 報告事項

（1）沖縄県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

➤ 総括情報部から最新の新規陽性者及び療養者の状況について報告【資料 1】

- ✓ 1/26 の新規発生 1,256 名、合計 78,358 名、入院中 410 名、うち重症 7 名、うち中等症 263 名、入院・療養等調整中 1,437 名、宿泊施設療養中 437 名、自宅療養 7,777 名、入院勧告解除確認中 45 名で療養中患者計 10,016 名となっている。

（2）米軍基地内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

➤ 総括情報部から、米軍基地内における発生状況について報告。【資料 2】

- ✓ 1/26 時点、米軍基地内で 15 名。
- ✓ 12/15 以降、米軍基地において 6,092 名の陽性者が確認されている。

(3) 沖縄県内及び全国の感染状況について【資料 3、3-1~3-10】

- 総括情報部から、警戒レベル判断指標の状況や各種分析資料について報告。
 - ✓ 判断指標について、新規陽性者数（直近 1 週間合計）はレベル 4、病床使用率はレベル 3、重症者用病床使用率はレベル 2 となっている。
 - ✓ 直近 1 週間の新規陽性者数の前週比は 0.80 倍となっている。
 - ✓ 一般病床の使用率は 95.1%となっている。
 - ✓ 直近 1 週間の人口 10 万人あたりの新規陽性者数は 528.98 で、全国ワースト 3 位の状況。
 - ✓ 各保健所管内別で見ると、八重山を除く北部、中部、南部、那覇、宮古管内では感染者が減少している。
 - ✓ 1 月以降、新規感染者に占める 60 歳以上の割合が増加傾向にある。
 - ✓ 高齢者の感染の増加に伴い、重症者・中等症者も増えてきている。
 - ✓ 医療従事者の就業制限は 1/15 をピークに減少しているが、1/22 は増加に転じている。
 - ✓ 1/17 の週の飲食店が推定感染源となっている感染者数は 92 人となっている。
 - ✓ 沖縄県疫学・統計解析委員会の報告によると、実効再生産数については、沖縄本島 0.88、宮古 0.55、八重山 1.39 となっている。
 - ✓ 年齢階級別割合について見ると、10 代から 40 代まで新規陽性者数に差がなく、幅広い世代へ感染が拡大している。
 - ✓ 入院患者、中等症の患者は増加傾向にある。
 - ✓ 今後の見通しについて、1 週間あたりの新規陽性者数は 6,000~8,000 人。
 - ✓ 全体としては減少が続くが、高齢感染者の減少には時間がかかると見込まれる。

(4) 宿泊施設の運用状況について【資料4】

- 時間の都合上、説明を割愛。

(5) 沖縄県人口変動状況について【資料5】

- 総括情報部から、KDDI Location Analyzerによる分析結果を報告。
 - ✓ 引き続き、繁華街エリア、商業エリア、空港エリアの全てで人流が減少しており、まん延防止等重点措置の効果が出ているものと思われる。

(6) 宮古・八重山地域の感染状況について【資料6】

- 宮古地方本部から宮古地域の感染状況等について報告。
 - ✓ 感染者は減少傾向にあるものの、減少率は鈍化している。
 - ✓ また、高齢者の割合が28%程度となっており、第5波の時より高い状況。
 - ✓ 入院者数は20名程度で落ち着いている。
 - ✓ 第5波の時より福祉施設等での感染事例が増えており、宮古島市と連携しながら業務継続の支援を行っている。
 - ✓ いくつかの指標は改善しているものの、宮古地域のまん延防止等重点措置の解除については時期尚早の印象。
- 八重山地方本部から八重山地域の感染状況等について報告。
 - ✓ 八重山では、前週に比べ1.3倍程度の感染者が確認されている。
 - ✓ 八重山では保育施設での感染事例が多く、10歳未満の感染者が多くなっているが徐々に改善されてきている。
 - ✓ 高齢者施設でも感染事例が確認されているが、ワクチンの3回目接種が済みであり、今のところ重症者は確認されていない。
 - ✓ 竹富町で6人の感染者が確認されているが、宿泊療養施設、現地診療所と連携

しながら健康観察を行っている。

(7) PCR 検査事業の状況について【資料 7】

➤ 総括情報部から、検査事業実績について報告。

- ✓ エssenシャルワーカー定期 PCR 検査の実績について、1/15～1/21 は、介護関係者 8,197 人が受検した結果、46 人が陽性であった(陽性率 0.56%)。また、障害者施設関係者 6,154 人が受検した結果、33 人が陽性であった(陽性率 0.54%)。保育施設関係者については、2,177 人が受検した結果、25 人が陽性であった(陽性率 1.15%)。
- ✓ 安価な PCR 検査補助の実績について、1/14～1/20 は 7,216 人が受検した結果、陽性者 530 人、陽性率 7.34%であった。
- ✓ ワクチン検査パッケージの実績について、1/15～1/21 は 6,439 人が受検した結果、陽性者 410 人、陽性率 4.33%であった。
- ✓ 一般無料検査の実績について、1/15～1/21 は 15,771 人が受検した結果、陽性者 816 人、陽性率 4.34%であった。
- ✓ 学校 PCR 検査の実績については 3,416 人(176 校)が受検した結果、陽性者 73 人、陽性率 2.14%であった。

(8) ワクチン対策チーム進捗状況報告について【資料 8】

➤ 総括情報部から、住民向けワクチン接種進捗状況等について報告。

- ✓ 1/24 時点で 1 回目のワクチン接種が完了した人は 1,043,190 人となっており、接種率(県全体)は 70.2%となっている。
- ✓ 1/24 時点で 2 回目のワクチン接種が完了した人は、1,028,793 人となっており、接種率(県全体)は、69.3%となっている。
- ✓ 1/24 時点で 3 回目のワクチン接種が完了した人は、39,570 人となっており、

接種率（県全体）は、2.7%となっている。

- ✓ 1/16には久高島98名、津堅島248名の接種が完了したほか、金武町では高齢者の4分の1に対し接種が完了している。
- ✓ 県内11市における高齢者施設等への接種については、全ての市で2月中に接種が完了する見込みとなっている。

（9）空港PCR検査プロジェクト・TACO・RICCAの運用状況等について【資料9】

- 文化観光スポーツ部から、空港PCR検査プロジェクト・TACO・RICCAの状況について報告。
 - ✓ 空港PCR検査プロジェクトについて、1/17の週の受検者は3,317名で、その内58名が陽性であった。
 - ✓ 那覇空港抗原検査について、1/17の週の受検者は419名で、その内1名が陽性であった。
 - ✓ TACOについて、1/17の週のサーモグラフィー通過者は59,848人で、その内発熱者は0人であった。
 - ✓ RICCAについて、1/21時点の登録者数は133,885人となっている。

（10）感染症対策専門家会議の概要について

- 総括情報部から、1/26に開催された感染症対策専門家会議の概要について報告。
 - ◇ 現在の感染状況について
 - ✓ 現在の感染状況等について次のとおり報告した。
 - ✓ 新規感染者は減少傾向にあるが、65歳以上の高齢者が増加傾向にある。
 - ✓ 現在のところ重症者は少ないが、高齢者、基礎疾患を有する者の入院が顕著になってきている。
 - ✓ 施設内療養者が、先週比で2倍超（273名）となっている。

- ✓ 県コロナ対策本部の施設支援医療コーディネーターを中心に感染防止指導のほか、往診や投薬等を実施している。
- ✓ 検査の逼迫状況が改善され、行政検査及び民間検査において予約が取れるようになってきている。

◇ 沖縄県対処方針、まん延防止等重点措置について

- ✓ 沖縄県対処方針、まん延防止等重点措置について次のような意見が出された。
 - ✓ 施設の患者急増等の状況を踏まえると、まん延防止等重点措置の継続は必要であるが、患者が減少傾向にある地域においては、早期解除を検討すべきである。
 - ✓ 県の対処方針も短期的には問題ないと考えるが、日本にはデルタ株がまだ残っていることから、オミクロン株と交互に流行することも想定すべきである。
 - ✓ 亜種の発生・流行を想定し、緊急事態宣言、休業要請の基準設定等を検討しておくことが必要である。
- 県の対処方針(案)、圏域毎の早期解除については、概ね感染症対策専門家会議の了承を得られた。

◇ その他の意見について

- ✓ 5～11歳の小児のワクチン接種については、沖縄の特徴(若年人口が多い、緊急事態宣言に係る2度の休校があったこと等)を踏まえ、オミクロン株に対しても一定の効果があることから、県民の理解を丁寧に得ながら進めていく必要がある。

(11) その他報告事項について

- 病院事業局から、県立病院の状況等について報告。
 - ✓ 1/26 時点の県立病院の入院患者数は 124 人であり、新型コロナ病床の稼働率は 53.9%となっている。
 - ✓ 1/26 時点で休業している職員数は 165 名となっている。
 - ✓ 中部病院からは、高齢者施設等での感染が増加している中、中頭病院、中部徳州会病院と連携しながら訪問診療に取り組んでいるとの報告があった。
 - ✓ 南部医療センター・子ども医療センターからも、高齢者施設への訪問診療について医師の参加を募っているとの報告があった。

- 総括情報部から、感染急拡大抑制と社会機能維持に向けた県の取組について報告。
 - ✓ 社会機能維持者である濃厚接触者の観察期間については、PCR 検査、医療用抗原検査キットの活用により 6 日～7 日に短縮されることとなっているが、社会機能維持者に保育所等の児童福祉施設、放課後児童クラブ等の従事者を追加した。
 - ✓ 社会機能維持に関わる事業者の抗原定性検査キットの購入方法を定め、周知している。
 - ✓ 那覇市内に新たな軽症者用宿泊療養施設（250 室）を 2/1 から開設する。
 - ✓ 南部地区の入院待機ステーション（30 床）を 1/12 から再稼働するほか、新たな施設（100 床）を整備中である。
 - ✓ 3 回目接種について、1/7 から県モデルナセンターを開設したほか、2/5 より広域ワクチン接種センター（北部、中部、南部）を開設する。
 - ✓ 県民向け無料 PCR 検査を 2/28 まで延長する。
 - ✓ 検査機関が逼迫していることから、症状のある患者自らが実施した抗原定性検査キットの結果について、電話・オンラインで医師の問診が受けられる体制を

整備する。

- ✓ 高齢者施設等に対する支援体制強化のため、医師会、福祉団体等との連携を強化する。

3 議題

(1) 沖縄県対処方針の変更案について

➤ 総括情報部から、沖縄県対処方針の変更案について説明。

◆ 現況について

- ✓ まん延防止等重点措置の指定に伴う対策により、オミクロン株による爆発的な感染拡大抑制は一定程度達成されている（1/7 時点先週比 17 倍から 1/26 時点先週比 0.8 倍）。

- ✓ しかし、感染が全年代に拡がり、社会福祉施設や医療機関での集団感染により高齢者の感染が拡大している。

（60代以上新規陽性者：1/11-17 週計 952 人から 1/18-24 週計 1321 人）

- ✓ 医療従事者を始めとするエッセンシャルワーカーで感染が拡がり、休業中スタッフが急増するなど社会インフラに影響が発生している。
- ✓ 社会インフラを維持し、感染の急拡大を抑制するためには、「基本的な感染防止対策の徹底」「ワクチン接種の推進」に加え、混雑した場所や不特定多数の人との会食等の感染リスクの高い活動を控える必要がある。

◆ 県の方針について

- ✓ 県は、①全年代の感染再拡大の防止、医療提供体制の維持、②高齢者等への感染拡大を抑制、重症化例の減少、③社会機能の維持のため県民・事業者等への働きかけを実施する。
- ✓ 感染者の減少及び医療体制の改善が進んだ場合は、期限内であっても前倒し解除を検討する。

- ✓ なお、各圏域毎の措置区域解除については、圏域毎の感染状況や医療体制の状況を勘案し、地域の意見等を踏まえた上で検討する。

◆ まん延防止等重点措置解除の考え方について

- ✓ 各圏域において、感染者の減少及び医療体制の改善が進んだ場合は、期限内であっても個別に前倒し解除を検討する。
- ✓ 解除の要件は、「病床使用率及び重症者用病床使用率が50%以下となること」、「新規陽性者数の前週比が7日間継続して1未満を維持していること」、「人口10万人あたりの新規陽性者数が200人を下回ること」とする。

◆ 県民・事業者等に対する要請内容等について

- ✓ これまでの要請内容に加え、次の内容を追加する。
- ✓ 来訪者に対し、感染が拡大している地域からの来訪は、政府の基本的対処方針に従い控えるよう要請する。
※「対象者全員検査を受けた者」「受験・受診・仕事等の必要な場合」は除く
- ✓ イベントの開催について、5,000人以下のイベントについては、チェックリストの作成等を通して感染対策を徹底することを要請する。
- ✓ 事業者、経済界に対しては、事業の特性を踏まえBCP（業務継続計画）を策定することを要請する。
- ✓ 福祉施設へは、BCP（業務継続計画）策定のほか、利用者やその家族に対し、代替サービスへの切り替えにより、通所サービスを控えるよう要請する。
- ✓ 学校に対しては、「学びの保障」の観点から、原則、通常登校とし、地域の感染状況によっては、分散登校も可能とする。
- ✓ 旧正月、生年祝い等の行事については、いつも一緒に居る方とし、基本的な感染防止対策を徹底するよう要請する。
- ✓ 受験等で県外と往来する方に対し、日々の体調管理の注意し、往来前にはPCR

検査を受検するよう要請する。

- ✓ また。訪問先での不要な外出、不特定多数との会食を控えるよう要請する。

(議題(1)に関する発言等について)

- ✓ まん延防止等重点措置の措置区域の解除の考え方について、解除条件を満たせば自動的に措置区域の解除となるのか質問があった。

→総括情報部から、措置区域の解除については、解除条件以外に当該地域の意見も確認して判断を行うことを説明。

- 議題(1)について検討した結果、総括情報部提案のとおり、沖縄県対処方針を変更することを決定した。

4 その他

(1) 沖縄便の搭乗者(希望者)を対象とする無料検査のポスターについて

- 文化観光スポーツ部から、沖縄便の搭乗者(希望者)を対象とする無料検査について報告。
- ✓ 沖縄県民と移動する方の安心の確保、早期の感染現探知、感染抑制を目的として、沖縄県と他地域間を移動する方について無料のPCR検査が開始されている。
- ✓ 国において当該無料検査の告知ポスターが作成されたため、県内市町村等に配布し、無料検査の活用を呼びかけているところである。

5 閉会